



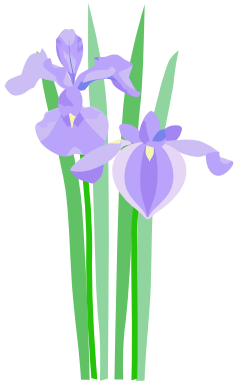
<ひとこと> 職場近くの川辺にて、白鳥を見かけました。…癒されます(川野)

平成22年度 柏市自立支援協議会 5月25日開催

の3つ会議体で構成されています。それぞれの会議体の概要は下記のとおりです。
質疑の中では
②の専門部会には「はたらく部会」「こども部会」「相談支援部会」が事務局から提案され、「暮らす」という視点について部会の名称変更や新たな部会を作るなど意見が多く出され、課題はあることの確認、まず今年度はこの3つの部会でスタート、と決まりました。
協議会、部会の長は次のように互選されました。

- ① 自立支援協議会：障害者団体、関係機関から選出された方による会議
- ② 専門部会：協議会委員によるテーマ別会議
- ③ 運営会議：会長、部会長、相談支援事業者等による事務局会議

（次第より抜粋）
「障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者相談支援の連携と支援体制を構築するため、中核的な役割を果たす定期的な協議の場として市が設置する。」障害のある人が普通に暮らせる地域づくりに向け、情報を共有して、具体的に共同する地域の関係者によるネットワーク、システムの構築を図る」
そのための協議会の運営は



	①自立支援協議会	②専門部会	③運営会議
構成メンバー	障害(児)者団体、相談支援事業者 障害福祉サービス事業、医療関係者、教育関係機関、商工関係機関、雇用関係機関、学識経験者、行政機関	左の協議会委員。 必要に応じ専門委員を加えることができる。	会長 部会長 委託相談事業者 市障害福祉課担当者
開催頻度	年2~3回程度	各部会により設定	随時開催
活動内容	協議会の活動方針・内容の決定 課題検討 専門部会の設置	困難ケース事例検討 テーマに応じた調査・研究	協議会及び専門部会の運営調整
会議の公開	原則公開 議事録の要約は柏市ホームページに掲載。	非公開	非公開

協議会会長：永桶静佳
(柏市地域生活支援センターあいネット)
協議会副会長：木村正巳
(柏市聴覚障害者協会)
はたらく部会部会長：杉田明
(障害者就業・生活支援センタービックハート)
はたらく部会副部会長：外山義哉
(柏市障害者施設連絡協議会)
こども部会部会長：松井宏昭
(柏市自閉症協会)
こども部会副部会長：田中齋
(桐友学園)
相談支援部会部会長：山下秀徳
(精神障害者家族会 よつば会)
相談支援部会副部会長：細田智子
(発達障害支援室)

(敬称略)



『学びたい』思いが入学条件です。

～柏自主夜間中学開講一周年～

初めて参加する生徒は、学びたいことや理由など自己紹介をします。年齢も住まいも国籍もさまざまなので、学びたい内容も十人十色。戦時中に学べなかった英語を教わる方、日本語の読み書きを習いに来る外国人、高校受験を目指す中学生：「学びたい」という気持ちで来た方々は、勉強への姿勢がとても真剣です。有志が集まった先生方も、一人ひとりの学習内容を考え、教材を用意して授業に臨んでいます。
「学びたい」気持ちはあっても、社会情勢や金銭問題、人間関係など様々な事情で学ぶことができなかった人たちにとって、夜間中学が一つの「学びの場」として機能していることを実感しました。

昨年4月9日、旧あいネットの会議室を使って開講した柏自主夜間中学。5月27日に、開講一周年の記念講演と活動報告会が行われました。
柏市自主夜間中学は、二十七年前に松戸市で開講した自主夜間中学の姉妹校として、毎週木曜日の18時から21時に開講。主に柏・野田に住む方が通っています。
あいネットはこの一年間、会議室をお貸しするという形で柏自主夜間中学のお手伝いをさせていただきました。
仕事の合間に聞こえてくる授業内容に笑顔になったり、感心したりしたことが記憶に新しいです。ここで少し(間接的ではありますが)参加させていただいた感想を。

時には先生と生徒の垣根を越えて、おしゃべりに花が咲き…夜間中学を通して出会った方との交流も魅力の一つと感じました。
2年目を迎える夜間中学は、引き続き旧あいネット事務所(現在は地域活動支援センターまんでんになりました)と柏市教育福祉会館で行われています。夜間中学が人々の「学び」機会を保障する場として、より地域に知られ、盛んに活動されることを期待します。



柏市障害者をむすぶ会

平成22年度で6年目を迎えた「むすぶ会」。当事者団体や家族の会、事業者の集まりのため、本体の活動・事業以外の余力はどこもたいへんです。大波小波がありつつも、協働の大切さで結ばれている会では、お互いの活動に誘い合ったり、相乗りしたりなどの報告もあり、やはり一歩外に目を向けること、出ることが自分たちの活動の糧にもなる!

平成22年度おしゃべり会



昨年度は8回開催した「おしゃべり会」日々の相談業務から離れ、ほっと一息、メンバーに付き合っていただき(?)ながら、ひっそりと行い続け: : :なんと今年度で四年目を迎えました。

大宮の鉄道博物館に行くなど、少し遠出にも挑戦した昨年度。4月の話し合いでは「バーベキュー」「遠足」をした、という意見も出ました。もちろん定番の「ボーリング」「カラオケ」も計画しています。特にカラオケは、恥ずかしいけど本当は歌が大好きなメンバーが多いということに気が付かれ、大いに盛り上がりつつあります。

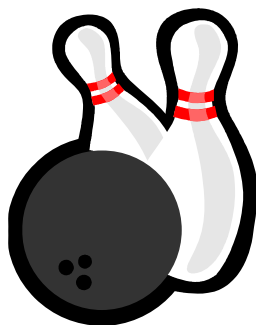
*** **

実はこのおしゃべり会、立ち上げのスタッフが退職し、一時は存続の危機も危ぶまれました。しかし、毎回参加してくださる方々と、新たなメンバーも加わり、にぎやかさがパワーアップしました。

毎回おしゃべり会を楽しみにしているスタッフとして、この会が続いていくことに一安心です。今年度もほそぼそと、確実に、活動をしていきたいと思っております。

*** **

おしゃべり会では、一緒に活動のお手伝いをして頂ける方を募集しています。詳細につきましては、あいネット若林までお問合せ下さい。



日中一時支援 トライアングル

トライアングルは、月曜日から金曜日まで、仕事や学校を頑張り、疲れた心と体を癒す場として活動する場所です。現在は、金曜日の終わりに仲間たちと食事をしたり、土曜日は、調理実習にカラオケ、車や電車などでの外出を通して、楽しく活動していらっしゃいます。他にも、散歩、外食、買い物と行事は盛りだくさんです。さらに、今後は平日の営業日拡大を検討中とのこと。利用者の方は、主に自閉症、知的障害の方達が集っています。

建物はとても広く開放感があり居心地が良い場所です。また、窓からは自衛隊の飛行機が行き交う姿を間近にみる事ができ迫力満点。飛行機好きにはたまらないと思います。

室内はとても広々してました。利用者には、それぞれに自分だけのお気に入りの場所があるとのこと。
1階がラーメン屋さんで、いいにおいに食欲もそそられます。



<利用案内>

住所: 千葉県柏市藤ヶ谷 1785-6 2F
(東武野田線「高柳駅」下車
ちばレインボーバス「下総基地入口」下車 徒歩1分)
※ポイント乗降で、送迎車が出ています。

開所日: 毎週金曜日 15:00~19:00
毎週土曜日 10:00~16:30

対象: 18歳から(18歳を迎えた高校生も可)

問合わせ:
特定非営利活動法人自閉症サポートセンター トライアングル



04-7193-4112 (担当:小林・細谷)

おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
ふるさとをください 上映会	6/5(土) 一部開演 10:00 二部開演 14:00	けやきプラザ ふれあいホール 我孫子駅前(西口)	500円 (チケット代)	不要 当日券あり	社会福祉法人つくばね会はるか TEL/FAX:04-7188-7594 社会福祉法人つくばね会おおばん TEL/FAX:04-7189-5794
雅楽多市(がらくたいち)	6/26(土) 10:00 ~17:00	民家ギャラリー結	無料	不要	民家ギャラリー結 住所:〒277-0872 柏市松葉町 2-12-3 TEL:04-7134-7201 (石釜パン工房サフラン裏手)
高次脳機能障害 「脳機能画像」からみる診断と支援	6/27(日) 13:00(開場) 13:30(開演) ~16:00	松戸市健康福祉会館 ふれあい 22 3階ホール (松戸市五香西 3-7-1)	100円 (資料代)	不要 先着 150名	世話人 綿貫 吉治 TEL/FAX:04-7174-3998 mail: yh-watanuki@jcom.home.ne.jp